

加齢性難聴者へ 補聴器購入費用の補助を

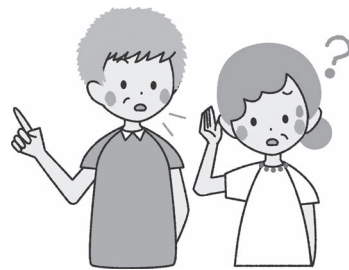
現時点では考えていない



小笠原 良子
(日本共産党)

議員 加齢性難聴者に補聴器購入費用を補助する考えは。現時点で補助は考えていませんが、まずは専門医の受診の必要性や補聴器に関して正しく理解していただくため、機会を捉え周知していく必要があると考えています。

す。また、難聴に関する研究や国、県の動向を注視していきます。



孤立につながる難聴への対応を

議員 市史の編さんを進めていく考えは。

教育長 市の歴史を総括し、後世に伝える重要な役割があると認識しており、節目の時期の刊行を想定していますが、編さん作業に年数を要することから、関係課と協議していきたいと考えています。

議員 (仮称) 十和田歴史館構想の進捗状況は。

教育部長 基本構想策定に着手していますが、

三本木原開拓関連資料の量や内容が現在のところ不明であることから、施設の規模等が確定できず、構想の完成には至っていません。

議員 三本木原開拓関連資料などの問題を別に考えて進めては。

教育部長 核となる内容になると考えるため、市が所有する資料の調査を中心に作業を進めています。

議員 自殺予防への取組は。

市長 県の自殺率は全国ワーストであるため、取組を強化し、自殺対策計画に基づき新たな体制を整備する必要があります。今年度は新たに、経済不安などの生活の悩みにも対応できるような間口を広げた「ころと暮らしの相談会」を実施していきます。



堰野端 展雄
(自民公明クラブ)

議員 今年5月9日に夏間沢で発生した林野火災の消火活動体制はどのように行われたのか。

市長 9日11時50分に119番通報で火災を覚知、先着した消防署員の状況報告で消防本部が県へ防災ヘリコプターの上空偵察を要請し、偵察の結果、空中消火活動が必要となったため、県と県から要請を受けた岩手県の防災ヘリコプターが空中消火活動を行うとともに、地上部隊が可搬式ポンプで消火活動を行いました。また、同日18時50分には、自衛隊災害派遣要請を県に

対して行いました。そ

夏間沢林野火災の消火活動体制は 災害警戒対策本部を設置し 消火活動を指揮

して、人家への延焼も危惧されたため、翌10日午前6時に災害警戒対策本部を設置し、午前9時からの会議を含め、12日の火災鎮圧まで延べ5回の会議を開催し、様々な情報の共有、関係機関との協力、連携体制を整え、消火活動を指揮しました。

てから最大級となりましたが、県、自衛隊、三八上北森林管理署、東北電力をはじめとする関係機関との連携、また消防署、消防団など地域の消防力を結集した迅速かつ適正な消火活動により、鎮火に至っています。

議員 不登校児童生徒のための中学校でのフリースクールを設置する考えは。

教育長 現時点で設置は考えていませんが、不登校児童生徒の気持ちに寄り添いながら、教育相談員の学校派遣、市教育相談室や適応指導教室の充実に努めたいと考えています。



空中消火活動を行った防災ヘリコプター